

「常陸大宮市地域公共交通網形成計画 (案)」の概要

◎計画策定の目的

常陸大宮市では、市民の生活交通手段を確保するため、市民バスや乗合タクシーを運行するほか、人口減少の進行する現状を鑑み、茨城県との共同事業による、コンパクト&ネットワークの考え方を踏まえた新路線バスの実証運行を開始するなど、地域公共交通の維持・確保に関する様々な取組を行ってきました。

このような中、本市における地域の課題や公共交通の現状・問題点などを踏まえ、市が目指す将来像を実現するうえで、公共交通が果たすべき役割を明らかにし、地域の実情に合った持続可能な地域公共交通網を構築するためのマスタープランとして、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく「常陸大宮市地域公共交通網形成計画」を策定します。

◎計画期間

平成30年度から5年間とします。

◎計画の対象区域

常陸大宮市全域

◎基本方針

～いつまでも誰もが安心・便利に利用できる公共交通～

地域内外の交流を通じて、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通網

◎基本目標

基本方針の実現に向けて、次の3つの目標を設定し、目標を達成するために各種施策を展開します。

・基本目標1 まちづくりと連動した公共交通網の構築

乗合タクシーを基軸として、市街地においては公共交通サービス維持、郊外地・中山間地においては、地域の実情に応じた効率的な運行形態や運行方法等の検討を行い、持続可能な地域公共交通網の構築を図ります。

常陸大宮駅周辺の都市中心拠点や居住機能を有する地域拠点、活力と賑わいをもたらす交流拠点づくりに向けた取組と連携を図りながら、これらの拠点を機能的に結ぶ公共交通網を構築し、拠点の活性化につなげます。

・基本目標2 安心便利に利用できる公共交通の構築

誰もがわかりやすい、利用しやすい公共交通の構築を図るため、快適な利用環境づくりや公共交通情報の提供・発信を行う。また、観光客向けの情報の提供・発信を行い、安心して便利に利用できる公共交通を構築します。

市民や利用者等のニーズを踏まえ、運賃施策や運行形態など、利便性を考慮した運行サービスを検討し、誰もが気軽に利用できる公共交通を構築します。

・基本目標3 みんなで支える公共交通の構築

地域全体で公共交通を支えるために、モビリティマネジメントの手法を取り入れ、地域等と協働による積極的な利用促進を図ります。

行政や交通事業者、関係団体等との密な連携や協働の取組により、公共交通の適正かつ効果的・効率的なマネジメントを行います。

◎計画の進行管理

市民の代表、交通事業者や行政関係者などから構成する「常陸大宮市地域公共交通会議」において、取組の実施状況の確認や効果検証、改善案の協議を行います。